

## 第2回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

開催日時	令和4年2月25日（金）午後2時～3時50分
開催場所	福光福祉会館 3階 しゃくなげホール
出席委員	・碓井 好彦 会長 ・宇野 雪江 副会長 ・磯辺 文雄 委員 ・上坂 紀子 委員 ・大河原 晴子 委員 ・川合 留里 委員 ・斉藤 優華 委員 ・澤田 恵子 委員 ・竹中 友佳子 委員 ・永井 節子 委員 ・前田 啓子 委員 ・前田 佳弘 委員 ・横山 一乃 委員（代理出席） ・遠藤 裕子 委員（代理出席） ・齊藤 哲也 委員（代理出席） ・山下 茂樹 委員（代理出席）（16名）
欠席委員	・北清 俊一 委員 ・定司 博子 委員 ・鉢蟬 圭伸 委員（3名） ・
事務局	・松本 謙一（教育長） ・村上 紀道（教育部長） ・河原 洋子（福光保健センター所長） ・溝口 早苗（こども課長） ・吉岡 亘（こども課） ・荒井 昌宏（こども課） ・山田 真由美（こども課） ・川田 千明（こども課） ・上水 沙貴（こども課）
傍聴人数	0名

### 1. 開会

### 2. あいさつ

会長 県内でも、新型コロナウイルスの感染・拡大が続いている。お互いに気を付けて無事乗り越えたい。今日は第2回子ども・子育て会議ということで、市の将来や地域の未来を考えたときに、「子どもの育ち」、「子育て」を抜きにしては語れない。今のうちにしっかりと計画を立てて、対策をしていくことが重要だと考えている。本日は、委員の皆さんの忌憚のない意見を聞かせてほしい。

### 3. 協議事項

#### （1）第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度取組状況と今後の取組予定について（資料1）

事務局から資料【基本目標1～4（資料1～8ページ）】により説明

#### 〈主な質疑、意見〉

A委員 「コドモン」について、どのような点が保育の質の向上につながっているか。

B委員 保育ドキュメンテーションを活用して写真等を保護者に配信することで、保育士が、どんなねらいを持って保育しているのか、何を親に伝えたいのかを考えるようになった。また、研修で話し合うことにより、質の向上につながっていると感じている。

C委員 「コドモン」を利用している保護者として、文章なども振り返ることができ、ありがたく感じ

ている。ただ、一部の未満児の保護者からは、連絡がとりにくくなったと聞くと、密な連携はきちんとされているか。

事務局 未満児は、「コドモン」の連絡帳機能を使って、以上児よりも細かく毎日の健康チェックなどを行っている。また、「コドモン」以外でも、これまでと同様に、保護者と顔と顔をあわせて会話をするようにしているので、気軽に声をかけてほしい。

C委員 「なんと Hug」について、交流の機能があるが、何を書いていいかわからず、踏み出せないのもう少しわかりやすくなればいい。また、交流の機能では、先輩ママの話も聞きたいと思うので、小・中学校の保護者にもアカウント登録を増やしてほしい。

事務局 交流機能について、こんなことをつぶやいてもいいのかと躊躇されている方に、もう少しわかりやすく伝えていきたい。また、小・中学校の保護者の集まる機会に「なんと Hug」のチラシを配布するなど周知している。これからもいろいろな子育て世代のアカウント登録に務めていきたい。

D委員 「保育アドバイザー」とあるが、どのような方に依頼しているのか。また、私立園でも利用できないのか。

事務局 今年度は、「だれでもハウス めぐみ」の木下先生に講師を依頼した。公立園では、市の保育理念、各園の保育目標があり、それぞれの園の課題について助言いただくために「保育アドバイザー」の巡回訪問を行った。私立園においても、それぞれの目標や課題があると思うので、どのような講師がいいか、こども課に相談してほしい。

E委員 事業 No. 20 の産後サポートとは、どのようなことを行っているのか。

事務局 「産後ケア事業」では、出産後、「赤ちゃんが寝ない」、「おっぱいを飲まない」などの悩みに対して、助産師が家庭訪問を行ったり、助産所に来たりしてもらって、母子の心身のケアや育児のサポートなどの支援をしている。また、「産後ヘルパー事業」では、妊娠中に申し込みをもらうので、8件の申し込みがあったが、実際には、祖母や父親が世話をすることになるなど、1件の利用に留まった。

E委員 「パパ講座」について、遊びが中心となっているので、母親が幸福感をもって子育てできるように、パパが子育てに関わるような講座の内容にすればどうか。

事務局 南砺で暮らしません課と連携し、また、どのようなニーズがあるかを見極めながら、パパが子育てに関わっていく「パパ講座」の内容にしていきたい。

F委員 「祖父母子育て講座」を、来年度から本格開催と記載してあるが、どのような内容か。

事務局 今年度に、祖父母の方に集まってもらい、意見交換を行った。この集まりの中で、今の子育てがわからない等の祖父母の悩みがあることから、どのような内容が求められているか模索しながら、パパ・ママとのコミュニケーション不足が少しでも解消するような講座にしていきたい。

G委員 「コドモン」について、つながらない日があったと聞いた。

事務局 不具合によりつながらないことが、これまでに2回ありご迷惑をかけた。  
しかしながら、「コドモン」は、200人近く園児がいる園での一斉配信や、既読機能、毎日の子どもの健康状態がチェックできるなど、便利で非常に役に立っている。

H委員 「コドモン」について、保育ドキュメンテーションの運用に、アップの数が多い・少ないなどの保育園による違いがあるのではないか。

事務局 こども課では、「コドモン会議」を定期的で開催して、各園に配信のバラつきが出ないように申し合わせをしている。しかしながら、職員の得意・不得意もあり、同じ数や内容にはなっていない。今後も、保護者が何を求めているかを考えながら掲載していきたい。

I委員 地域において、コロナの影響もあり、3世代交流事業ができていない。「祖父母子育て講座」と地域行事とタイアップしてはどうか。

事務局 まずは、地域づくり協議会にも案内するなど、取り組んでいきたい。

J委員 「なんとっ子まなびサポーター」や、「適応指導員」とは、どのような方がされていて、各学校に配置されているのか。

K委員 「なんとっ子まなびサポーター」や、「適応指導員」は、教員のOBやOGが多い。

事務局 どの学校に配置するかは、各学校の状況を見ながら、必要とされる場合に配置している。

G委員 事業 No. 92 の現況確認時とはいつのことか。土・日もやっているのか。

事務局 基本的には8月に開催し、平日の開庁時間内に対応している。今後は、土・日の対応についても検討していく。

E委員 「なんとっ子まなびサポーター」や、「適応指導員」などの方は、研修を行っているのか。

K委員 年2回の研修をしっかりと受けてもらっている。

E委員 ひとり親の支援は充実していると思うが、ひとり親ではなくても、父母のどちらかが病気になったり、親の介護が必要だったり、ケアの必要がある人もいると思うが、このような家庭に支援はないか。

事務局 ひとり親に限らず、このような課題のある家庭は多くあると認識している。女性・こども相談室では、家庭訪問をしたりして、それぞれの家庭に応じた必要な支援を行っている。

## (2) 令和4年度の定員(変更)と入園申込状況について(資料2)

事務局から資料(9~11ページ)により説明

### 〈主な質疑、意見〉

質疑なし

## 4. その他

### ・南砺市子どもの権利条例(仮称)素案に係る意見募集について(資料3)

事務局から資料(12~19ページ)により説明

### 〈主な質疑、意見〉

K委員 子どもの権利条例について、2月の学習参観で親子で話を聞く予定だったが、コロナのため中止になった。現在、意見募集を行っているので、協力をお願いしたい。

会長 意見募集の期間を延長できないか。

事務局 意見募集は、今回を含めて3回行うので、3月18日までの募集期間は延長しない。今後、6月と10月にも意見募集を行う予定である。

## 5. 閉会

副会長 本日も、たくさんの意見をいただいて、良い話し合いができた。南砺市が真剣に子育てに取り組んでいて、子どもを元気に安心して育てられる市になると思う。

教育長 委員のみなさまから、2年間に渡っていい意見をたくさんいただいた。困ったときには、自分で頑張る。それでもダメなら人に頼る。このメッセージをもっと市から発信し、困ったときに気軽に声をかけてもらえる行政づくりをしていきたい。2年間本当にありがとうございました。

午後3時50分 終了